

平成 29 年度 第 1 回自転車セミナー

テーマ

「自転車乗員保護へ向けた総合的な取り組み」

我が国の自転車に関する交通事故は都市部で発生する事例が多い状況にあります。私どもは、都市部における自転車の交通事故発生メカニズムを解明し、交通安全対策を実施するための基礎データを調査・整備してきました。近年、車両に搭載されたセンサが前方の自転車乗員を検知し、警報やブレーキ制御をかける自転車乗員検知型被害軽減システムが開発の途上にあります。こうした新システムの普及は、交通弱者保護対策として有望視されています。私どもは、自転車乗員が実車に衝突したときの安全性能、そして欧州自動車アセスメントの自転車乗員検知型被害軽減装置の評価手法を提案するための基礎の構築に取り組んでいます。自転車乗員の交通事故の現状とその対策について、多角的視点からお話しさせていただきます。

Matsui Yasuhiro

講師： **松井 靖浩 氏**

(独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所
主席研究員 博士(工学)
首都大学東京 客員教授

Oikawa Shoko

及川 昌子 氏

首都大学東京
システムデザイン学部特任助教 博士(工学)



松井靖浩氏



及川昌子氏

<Profile>

松井靖浩氏：(一財)日本自動車研究所を経て、現在(独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所主席研究員。欧州の車両保安基準における歩行者脚部保護、大腿部保護傷害基準値の開発。日本では、歩行者頭部インパクト(ダミー)を開発しボンネットの歩行者頭部保護基準を車両保安基準として導入。最近では、自転車乗員保護のための基礎研究を推進。2017年より自動車の近接にいる交通弱者保護(歩行者、自転車乗員)システムに関する国連規則策定のための専門家会議議長に就任。

及川昌子氏：(独)自動車技術総合機構交通安全環境研究所研究員を経て、現在首都大学東京特任助教。歩行者検知型被害軽減装置、自転車乗員検知型被害軽減装置に関する欧州および日本の自動車アセスメントの開発に従事する傍ら、大型車の交通弱者保護に関する基礎研究を推進。

- * 保安基準：車両販売のために満たすべき技術要件
- * 自動車アセスメント：新車の安全性能を★印で国民へ開示する事業

日時：2017年 **10**月**4**日(水) 18:00～19:30 (開場 17:30)

会場：自転車総合ビル6階601会議室(東京都品川区上大崎3-3-1)

参加費：セミナーのみ1,000円/セミナー&懇親会2,000円(懇親会は19:40～開催)

*当日、受付にてお支払いください。

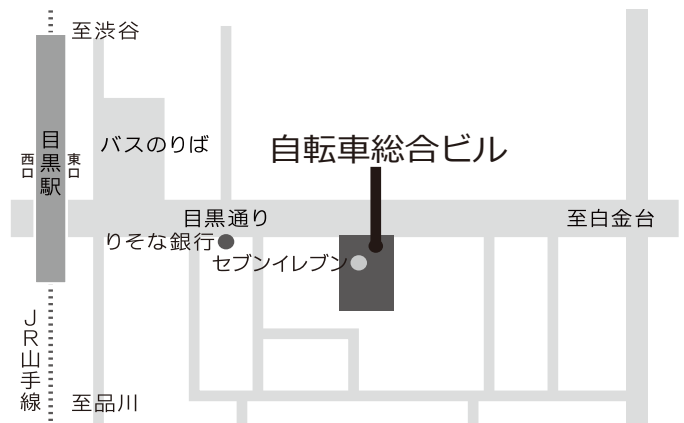
申込み：ホームページよりお申し込みください。

定員：60名(先着順)

主催：一般財団法人日本自転車普及協会

*問合せ先 03-4334-7952(月～金 9:00～17:00)

会場アクセス：東京メトロ南北線・都営三田線
東急目黒線・JR山手線
『目黒』駅下車徒歩3分



◎自転車でお越しの方は、駐輪スペース(以下、事前申込制)をご利用ください。
ただし、盗難等が発生した場合でも主催者では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

◎自動車・オートバイ駐車場はございません。

BiYoLing
Popularization Association of Japan
一般財団法人

日本自転車普及協会

お申し込みは **本会ホームページ** よりお願い致します。

日本自転車普及協会

検索

ホームページ (<http://www.bpaj.or.jp/>) → 「自転車セミナー」